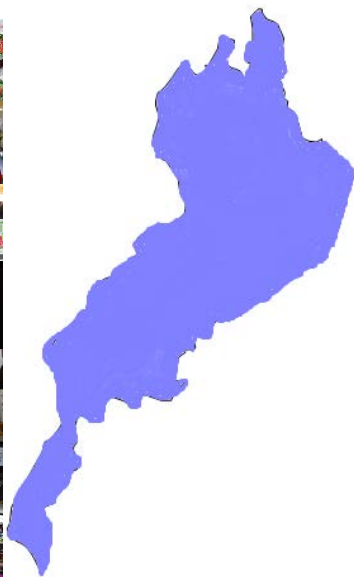


滋賀県の6次産業化への取組事例



平成27年 3月

近畿農政局 大津地域センター

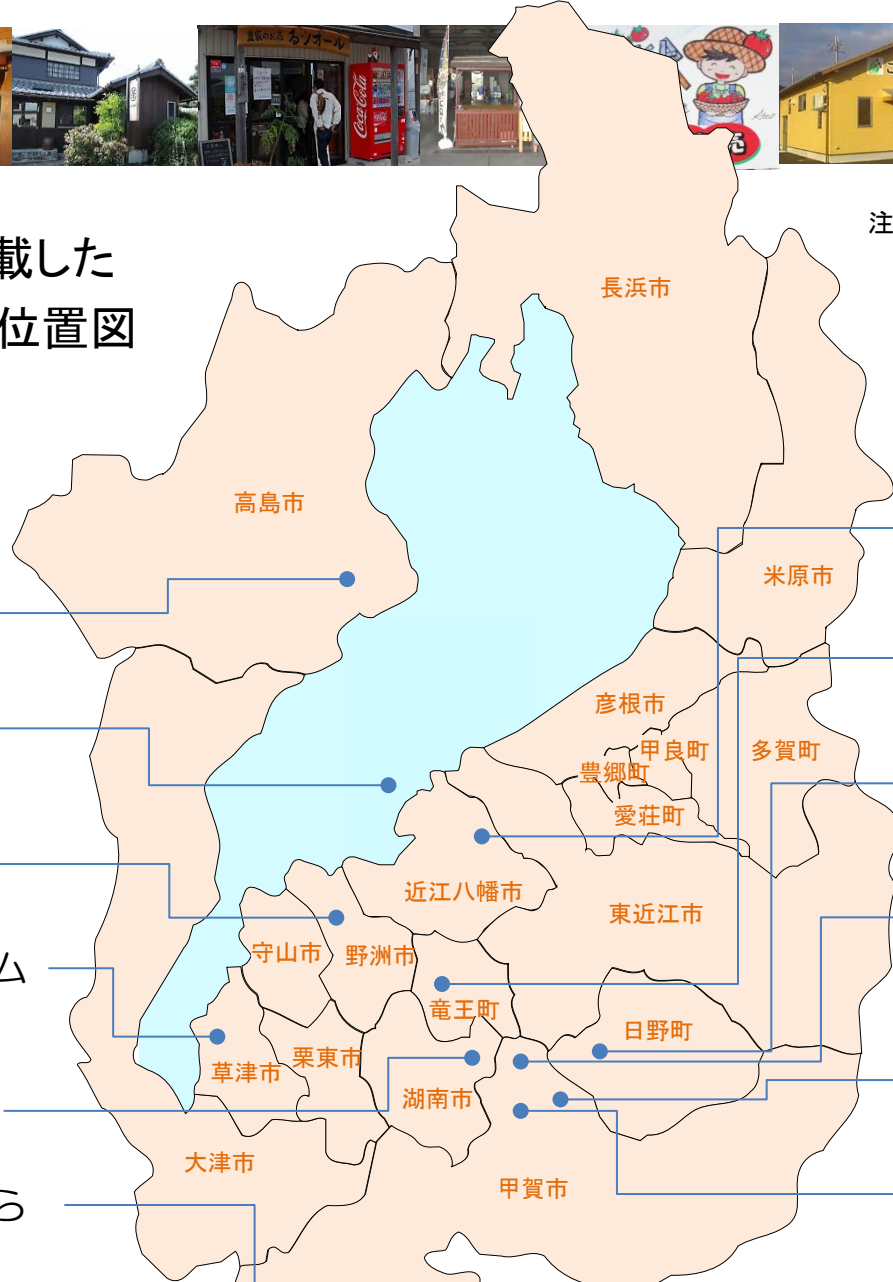
東近江地域センター



この事例集に掲載した 認定事業者の位置図

注: 6次産業化認定事業者とは、「地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律」(六次産業化・地産地消法)に基づき、農林漁業者が取組計画を作成し国によって認定された事業者をいいます。

- ⑩ 有限会社
エコ農業 ニシサカ
[高島市]
- ② 沖島漁業協同組合
[近江八幡市]
- ⑧ 北川製茶
[野洲市]
- ③ 株式会社 横江ファーム
[草津市]
- ⑨ 株式会社 fm craic
[湖南市]
- ⑤ 有限会社 茶のみやぐら
[甲賀市]



- ① 工房 安土夢
[近江八幡市]
- ⑫ 有限会社 古株牧場
[竜王町]
- ⑪ タカファーム
[日野町]
- ④ 農事組合法人
春日営農組合
[甲賀市]
- ⑥ 株式会社 水口テクノス
[甲賀市]
- ⑦ 有限会社
るシオールファーム
[甲賀市]



① 米菓子及び野菜と米を利用した惣菜、弁当の加工・販売事業



ユニークなネーミングの野菜・米の焼菓子商品

あんどむ
工房 安土夢 [平成23年5月認定]

事業に取組んだ経緯

昭和58年に安土町生活改善グループとして設立。農家の生活向上と地域活動推進を目的に特産品づくりとして野菜せんべいの加工に取り組んできた。平成8年4月から「工房 安土夢」となり、加工品の生産拡大に本格的に取り組み、今回、団体の継続・発展、所得向上及び新たな商品開発や販売力の強化を図るために6次産業に取り組むこととした。

開発した商品

(朱書き: 計画認定品)

米せんべい、炊き込みご飯、信長ずし、ちらしずし、煮豆、ぜいたく煮、彩菜漬け、大喜荷弁当

活用した事業

・6次産業総合推進支援事業
(新商品開発、販路開拓支援)

★ 商品へのこだわり

- ・原材料にこだわり、素材を生かした商品づくり。
- ・「赤ちゃんからお年寄りまで」を合言葉にヘルシーな商品づくり。
- ・商品のネーミング・包装デザインに自信。

◆ 主要な販路と販売形態

- ・地元スーパー、JA直売所等
- ・イベント、会議等への弁当受注

● 事業効果と今後の展開・課題

- ・売上高で約2割上昇。
- ・新たに2名の雇用確保。
- ・メンバーの連携と新たな販路確保。



米せんべい
(舞米)



大喜荷弁当

② 沖島よそのコロッケプロジェクト

沖島漁業協同組合 [平成23年5月認定]

事業に取り組んだ経緯

外来魚(ブラックバス等)の増殖から、鮎やフナ等の在来種が激減し、漁業へ大きな損失となっているだけでなく、水産収入の減少から島外への人口流出が増え、島の過疎化が懸念されている。

このため、ブラックバスを原料とした加工品(コロッケ)を開発することで、新たな資源活用により地域の活性化、島内の新たな産業の育成を図ることとした。



沖島漁協内の直売所



開発した商品(朱書き:計画認定品)

沖島よそのコロッケ

★ 鮮度へのこだわり

- ・鮮度の高い原材料を利用できるよう、漁港に隣接した加工場で水揚げ後すぐに加工している。



よそのコロッケ

商品開発・販売提携先

- ・(株)木馬ひさご寿司
- ・加工販売業者

今後の展開・課題

- ・後続の新商品開発。
- ・平成25年に内水湖で初めての離島指定。宿泊施設やレストランなど観光業との連携による離島振興を図る。

沖島漁業協同組合：代表理事組合長 森田 正行

近江八幡市沖島町43 TEL 0748-33-9511 FAX 0748-33-9513 HP: [http:// www.biwako-okishima.com](http://www.biwako-okishima.com)

③ 自社栽培野菜の小松菜とほうれんそうを利用した商品の加工・販売及び通販による直売

株式会社 横江ファーム [平成26年5月認定]

事業に取組んだ経緯

野菜離れしている子供や高齢者に、手軽に野菜の栄養を摂ってもらえる商品として、規格外の野菜を有効利用して、加工品の開発を目指した。

開発した新商品 (朱書き: 計画認定品)

小松菜ドレッシング、小松菜ペースト

★ こだわり

- ・「野菜の価値創造」をテーマに、消費者が求める、売れる野菜を作る。
- ・地産地消、計画栽培・計画継続出荷、堆肥による循環型農業、低農薬で安全・安心をモットーに栽培。
- ・お客様に安心・安全を届けたい。



小松菜ペースト (ナチュラルタイプ・グリーンタイプ)



◆ 他の事業者との連携

- ・加工委託：加工業者
- ・商品パッケージデザイン：芸術大学
- ・販売：ポータルサイト、生活協同組合、学校給食、JA農産物直売所、道の駅
- ・堆肥原料：競走馬トレーニングセンター

● 今後の展開・課題

- ・ほうれん草ペーストの開発・販売
- ・ホームページを利用した販売
- ・小松菜ペースト及びペーストを利用した小松菜パン等を県内の学校給食でより一層取り入れてもらい、地域活性化を目指す。



小松菜ドレッシング (だし風味・しょうゆ)

④ 自家農園で生産した農産物の加工・販売

農事組合法人 春日営農組合

[平成23年5月認定]

事業に取り組んだ経緯

米・麦・大豆中心、JA系統出荷だけでは経営が成り立ちにくい状況のため、H22年度から自ら設置した農産物直売所「かすがの郷」で直売を開始した。

近隣に野菜生産農家が少ないため、野菜生産を始めた。

開発した新商品(朱書き:計画認定品)・販売方法

- ・味噌、漬物、いちごジャム、麴、かきもち など
- ・直売所「かすがの郷」、JA農産物直売所 など

★こだわり

- ・自家農園で生産した安心な農産物を安定した取引方法で販売する。

◆活用した事業

6次産業化推進整備事業
(加工・生産施設整備)



味噌



いちごジャム



あられ

● 今後の展開・課題

- ・女性の活躍で、加工品に取組み売上を伸ばす。
- ・後継者の確保が課題

農産物直売所「かすがの郷」



⑤ 地域特産物である朝宮茶の直販充実とアイスクリーム・焼菓子(カステラ・プリン・ロールケーキ)の加工・販売



ロールケーキ(煎茶・抹茶) 煎茶は甲賀ブランドの物産に指定されている



朝宮茶のアイスクリーム



プリン3兄弟(煎茶・ほうじ茶・抹茶)

事業に取組んだ経緯

茶葉の消費低迷と供給過剰による茶価の低下、生産資材の高止まりによる生産コストの負担増の厳しい状況が続いたこと。直販店舗での茶葉の売上低迷の中、菓子による新規顧客獲得によりターゲット層を拡大し、茶葉の消費促進につなげるため。

★ おいしさへのこだわり

- ・全て自家茶園で育てた朝宮茶を使用
- ・菓子からも煎茶ならではの香りと渋味、うま味を引き出し、朝宮茶を感じられる

◆ 活用した事業

6次産業化推進整備事業
(加工施設整備)

有限会社 茶のみやぐら

[平成23年5月認定]

開発した新商品

(朱書き:計画認定品)

煎茶・抹茶のロールケーキ
煎茶・ほうじ茶・抹茶のプリン
朝宮茶のアイスクリーム

○ 今後の展開・課題

- ・既存商品の販売強化を進める
- ・焼き菓子の商品化が課題



茶畑



有限会社 茶のみやぐら：代表取締役 樋口昌晴 HP:<http://www.chanomiyagura.com/>

甲賀市信楽町下朝宮39-1 TEL 0748-84-0405 FAX 0748-84-0533

営業時間 10:00～18:00 定休日 火曜、第3水曜

⑥ 生ごみ堆肥を使用し生産したメロン、トマト、いちご、干瓢の加工・販売

株式会社 水口テクノス [平成23年5月認定]



鹿深トマト



トマトケチャップ・ソース



トマトドレッシング・ぼん酢



いちごジャム



いちごハッ橋



「章姫」(あきひめ) いちご

事業に取り組んだ経緯

地域の生ごみを堆肥化し、その堆肥を使った作物を地域に還元する地産地消を確立したいと考え、収益性が見込めるメロン、いちご、トマトの生産・加工・販売に取り組むこととした。

★ こだわり

- ・地域の生ごみを使ったりサイクル堆肥による循環型農業
- ・輸送費をかけない地産地消

開発した新商品 (朱書き: 計画認定品)

いちごジャム、トマトケチャップ・ドレッシング・ぼん酢、ジェラート(メロン、トマト、いちご)、いちごハッ橋 など

◆ 他の事業者との連携

加工業者へ委託

● 今後の展開・課題

- ・いちごハウスの増設
- ・観光と農業を結びつけ、地域の活性化を目指す



株式会社 水口テクノス：代表取締役 小山 浩 URL: <http://www.biwacity.com/m-tec>

甲賀市水口町松尾502-18 TEL 0748-62-1959 FAX 0748-63-1960

直売所 甲賀市水口町水口5940-4 年中無休 営業時間 9:00~17:00

⑦ 地域資源・伝統を活用した伝統農産物の復活及び地産地消拡大

有限会社 るシオールファーム [平成23年5月認定]



たまねぎドレッシング



日野菜の漬物



ポン菓子



柿チップ

事業に取組んだ経緯

消費者から米だけでなく、野菜等を求めるニーズが多くなり、H21年に直売所を開設したが、自社生産の農作物の美味しさをもっと多くの人に、もっと気軽に味わってもらいたいという思いから、生鮮食品だけでなく農産物加工にも取組み始めた。

活用した事業

6次産業化推進整備事業(加工施設整備)

★ こだわり

- ・地産地消の拡大
- ・安全・安心な農作物の提供
- ・伝統野菜かんぴょうの復活

◆ 他の事業者との連携

委託加工(米粉パン)

● 今後の展開・課題

- ・既存加工品の販売強化
- ・カットねぎ設備の導入

開発した新商品(朱書き:計画認定品)

ポン菓子(米、黒豆)、米粉パン、おはぎ、かんぴょう巻き、漬物、切干だいこん、ドライ野菜(トマト、かぼちゃ、にんじん)、ドライフルーツ(いちじく、かき)、ドレッシング(たまねぎ、ねぎ塩)、しょうゆ(にんにく)、佃煮(しょうが)、ジャム(いちじく)、いちじく大福 など



有限会社 るシオールファーム: 代表取締役 今井 敏

直売店 甲賀市水口町北脇2381-2 TEL・FAX 0748-63-8851

営業時間 8:30~17:00 定休日 日・祝日 HP: <http://www.luciole-farm.com/>

⑧ 近江茶を使用した洋菓子の開発・販売

北川製茶 [平成24年2月認定]



ソフトクッキー(ほうじ茶・緑茶)



紅茶(ティーバック)



お茶のジャム・スパイス・ドレッシング、茶塩

➡ 開発した新商品 (朱書き: 計画認定品)

ソフトクッキー(緑茶・ほうじ茶)、紅茶、お茶のジャム、スパイス、ドレッシング、茶塩 など

➡ 事業に取組んだ経緯

リーフ茶の需要が減少する中で、本当に美味しいお茶に親しんでもらうために、お茶にふさわしいお菓子、子供からお年寄りまで親しんでもらえるお菓子の開発が必要だと考えた。また、販路の開拓によりリーフ茶の売上を上げたいと考えた。

★ こだわり

- 安心して飲める無添加の天然のお茶
- 有機肥料を中心とする低農薬栽培
- 自家自製自販のお茶

● 効果と今後の展開・課題

- 2年後の売上は118%に増加。
- 販売先、販売方法の拡大を図る。
- お茶を通して「ゆとりの文化」を創って行きたい。

◆ 他の事業者との連携

加工業者(ソフトクッキーの委託加工)



北川製茶：代表 北川義一 HP: <http://www.kitagawa-cha.com>

野洲市乙窪112 TEL 077-589-3025 FAX 077-589-2053

店舗 営業時間 9:00~19:00 不定休

⑨ 自家農園で生産した野菜(湖南省伝統野菜)「弥平とうがらし」を利用した商品の加工・販売

FM CRAIC

株式会社 fm craic [平成24年10月認定]



弥平とうがらし「ぴりり」各種、チリソース



弥平とうがらし



弥平とうがらしの栽培圃場

事業に取り組んだ経緯

OLを続けていくことに疑問を感じ、食や農業に関連する仕事に就きたいという思いを抱く2人で農業をビジネスとして捉え、起業した。

湖南省の伝統野菜である「弥平とうがらし」を使った加工品を開発して、滋賀・湖南省を代表する特産品にしていきたいと思ったことがきっかけ。

★ こだわり

- ・化学肥料・農薬を使用しない栽培
- ・有用菌活用の食品リサイクル堆肥による土づくり
- ・夏場にたっぷり太陽の光を吸収させる旬にこだわった栽培

開発した新商品 (朱書き:計画認定品)

弥平とうがらし「ぴりり(イタリアミックス味)」、チリソース、ブラウニー(ケーキ)、弥平ジェラート、おかず味噌 など

今後の展開・課題

- ・弥平とうがらしを使用した新商品(レトルト食品)の開発、販売に取り組む。
- ・弥平とうがらしのブランド化を進める。

◆ 他の事業者との連携

直売所、高速道路パーキングエリア、道の駅 など



⑩ うるち米・もち米を利用した米粉商品の開発・販売

有限会社 エコ農業ニシサカ [平成23年5月認定]



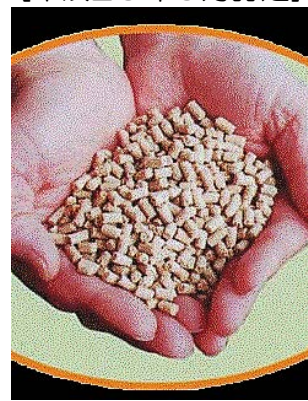
米粉入りうどん



酒



米粉



米糠ペレット（除草用）

➡ 事業に取り組んだ経緯

うるち米による収入にのみ頼っていると安定収入が得られないことから、米粉にしてうるち米の付加価値を高め、米粉の販路を得るために米粉麺の開発を始めた。

★ こだわり

- ・滋賀県産米「夢みらい」を加えた「もちり」した食感と「つるん」とした喉ごしのうどん（乾麺）
- ・米の完全なトレーサビリティによる安全・安心な米製品の提供

◆ 活用した事業

6次産業化整備支援事業（加工施設整備）

● 今後の展開・課題

- ・米粉麺に自社栽培小麦の使用を進める。
- ・米粉麺（乾麺）のインターネット販売を進める。
- ・販売先の確保が課題。

◆ 他の事業者との連携

- ・製麺所（商品開発）
- ・シェフ、料理研究家（レシピ考案）
- ・加工業者（米粉麺加工）

➡ 開発した新商品（朱書き：計画認定品）

米粉入りうどん（乾麺）、米粉、日本酒、米糠ペレット

米粉製造工場



⑪ こだわりトマトを使った新商品開発・直接販売

タカファーム [平成25年2月認定]



トマトジュース



トマトジャム



トマトケチャップ

★ 安全とおいしさへの こだわり栽培

- ・鉄分とマンガンを除去し軟水処理した地下水の利用と減農薬栽培。
- ・ハチによる自然受粉。
- ・完熟一歩前での収穫と即日販売。

◆ 活用した事業

- ・6次産業化推進支援事業
(商品開発、加工施設整備)

◆ 他の事業者との連携

- ・シャーベット製造：加工業者



➡ 事業に取り組んだ経緯

安全・安心のこだわりトマトとして認知度も向上し顧客が増加してきた中、生産規模の拡大と経営の安定を図るため、規格外品の有効活用として加工品の開発に取り組み、平成26年4月より新商品の販売を開始した。

➡ 開発した新商品(朱書き：計画認定品)

トマトジュース・ケチャップ・
ジャム・ソース・ピューレ
ピザソース、パスタソース、サル
サソース、シャーベット



こだわり
トマト

○ 効果と今後の展開・課題

- ・売上高 約4割上昇(事業開始前比)
- ・販路拡大への対応

タカファーム：代表 立入 孝司

蒲生郡日野町三十坪1198-1 TEL 090-7881-1479 FAX 0748-37-5234

直売所 営業時間 9:30～18:00 (季節により異なります) HP: <http://takafarm.com>



⑫ 自家生乳を使ったピザ・パン・焼き菓子の開発、販売



種類豊富なジェラート、ソフトクリームとプリン



有限会社 古株牧場〔平成26年2月認定〕

事業に取り組んだ経緯

平成9年以降、ソフトクリーム、ジェラートやプリン、ケーキ等の加工販売事業を展開しているが、販売期間（季節）が限られることや嗜好品の要素が高く、購入者の年代・性別が偏向する傾向があったため、日常手軽に食べられるピザやシュークリーム等の新規開発により商品バリエーションを強化し、新たな販路開拓にも取り組むこととした。

主な販売提携先

- ・アウトレットパーク
- ・道の駅
- ・農業公園



〔湖華舞〕自慢の熟成チーズ

これまでに開発した商品

ケーキ、プリン、ジェラート、ソフトクリーム、熟成チーズ



★ 原料・製法へのこだわり

- ・自家産の新鮮な生乳。
- ・地元養鶏場の天然飼料で育てた鶏の産み立て卵。
- ・他の農産物も、栄養満点、新鮮で安全な地元産を使用。
- ・フランス仕込みの熟成チーズ。

○ 効果と今後の展開・課題

- ・自家製チーズは大手航空会社の機内食にも採用。
- ・直売施設での飲食、テイクアウト用に、自家生乳と地元野菜を使った「石窯ピザ」、パン、自家生乳と地元鶏卵を使ったシュークリームを開発。



直売所「湖華舞」

（有）古株牧場：代表取締役 古株 昇治

蒲生郡竜王町小口1183-1 TEL 0748-58-2040 FAX 0748-58-0004

直売所 営業時間 10:30～18:00（夏期）10:30～17:00（冬期） HP: <http://www.kokabu.co.jp/>

滋賀県内における六次産業化・地産地消法認定者一覧〔平成27年3月末現在〕

市町名	事業者名	認定年月	市町名	事業者名	認定年月	市町名	事業者名	認定年月														
大津市	小松水産株式会社	平成23年10月	甲賀市	有限会社 茶のみやぐら	平成23年5月	高島市	有限会社 エコ農業ニシサカ	平成23年5月														
大津市	大津漁業生産組合	平成26年2月	甲賀市	洞 重則	平成23年5月	東近江市	株式会社 あぐりきっず	平成25年10月														
大津市	レーク大津農業協同組合	平成26年12月	甲賀市	マイベリーファーム 勝井 茂幸	平成23年5月	東近江市	一般財団法人 愛の田園振興公社	平成26年5月														
彦根市	農事組合法人 河瀬西部営農組合	平成24年10月	甲賀市	株式会社 水ロテクノス	平成23年5月 平成27年2月	東近江市	有限会社 茗荷村同労社	平成26年10月														
彦根市	有限会社 フクハラファーム	平成27年3月				東近江市	有限会社 池田牧場	平成27年2月														
長浜市	横田 圭弘	平成27年2月	甲賀市	山元 正樹	平成23年5月	日野町	タカファーム 立入 孝司	平成25年2月														
長浜市	百匠屋 清水 大輔	平成27年2月	甲賀市	有限会社 るシオールファーム	平成23年5月	竜王町	有限会社 古株牧場	平成26年2月														
近江八幡市	工房 安土夢	平成23年5月	甲賀市	小嶋 信一	平成23年10月	愛荘町	株式会社 ラチャーノ農園	平成26年2月														
近江八幡市	沖島漁業協同組合	平成23年5月	甲賀市	しがの茶園整備新鮮緑クラブ	平成23年10月	愛荘町	株式会社 カネク	平成26年2月														
近江八幡市	株式会社 みやもと農園	平成23年5月	甲賀市	有限会社 あいの土山	平成24年5月	愛荘町	あいしょうアグリ 廣嶋 久平	平成26年5月														
近江八幡市	農業生産法人 株式会社 青友農産	平成24年2月	甲賀市	小川 伊之輔	平成24年5月	豊郷町	とよさと特産物振興協議会	平成26年2月														
近江八幡市	株式会社 千成亭ファーム	平成26年2月	甲賀市	農事組合法人 黄瀬営農組合	平成24年5月	甲良町	農事組合法人 ファームかなや	平成26年2月														
草津市	株式会社 横江ファーム	平成26年5月	甲賀市	辻 正和	平成24年5月	計62事業者64事業																
草津市	有限会社 アグリケーション	平成27年2月	甲賀市	山崎 常雄	平成24年5月	※認定年月の2段書きは、同一事業者が異なる取組計画で認定を受けた年月です。																
守山市	農業生産法人 グリーンエコスター株式会社	平成23年5月	甲賀市	農事組合法人 楽農ファームかわら	平成24年5月	<div>農水産品目別認定事業総数</div> <table><tr><th>品目</th><th>総数</th></tr><tr><td>米類</td><td>15</td></tr><tr><td>野菜</td><td>23</td></tr><tr><td>果樹</td><td>6</td></tr><tr><td>畜産物</td><td>3</td></tr><tr><td>茶</td><td>10</td></tr><tr><td>魚類</td><td>3</td></tr></table>			品目	総数	米類	15	野菜	23	果樹	6	畜産物	3	茶	10	魚類	3
品目	総数																					
米類	15																					
野菜	23																					
果樹	6																					
畜産物	3																					
茶	10																					
魚類	3																					
守山市	なばなおうみの会	平成23年5月	甲賀市	浅野 尋美	平成24年6月																	
栗東市	中井 榮夫（榮農場 場主）	平成24年2月	甲賀市	上野川営農組合ブルーベリー部会 宮ペリー	平成25年10月																	
甲賀市	有限会社 オカムラ農産	平成23年5月	甲賀市	なかお農園 中尾 久	平成25年10月																	
甲賀市	農事組合法人 春日営農組合	平成23年5月	甲賀市	農業生産法人 まるごとファーム株式会社	平成25年10月																	
甲賀市	片木 明	平成23年5月	甲賀市	農業生産法人 株式会社 マックスファーム	平成25年10月																	
甲賀市	農事組合法人 グリーンティ士山	平成23年5月	甲賀市	甲賀農業協同組合	平成26年2月																	
甲賀市	農事組合法人 甲賀エコファームいちの	平成23年5月	野洲市	農業生産法人 株式会社 マイファーム滋賀農場	平成23年5月 平成26年2月																	
甲賀市	農業法人 有限会社 甲賀もち工房	平成23年5月																				
甲賀市	有限会社 しまだファーム	平成23年5月	野洲市	北川製茶 北川 義一	平成24年2月																	
甲賀市	農事組合法人 すごいええのう鮎河	平成23年5月	湖南市	有限会社 ティアイケイ農産	平成24年5月																	
甲賀市	田中 治広	平成23年5月	湖南市	株式会社 fm craic	平成24年10月																	

※米と野菜、野菜と果樹など複数の品目を使った事業を行っている場合は、主に使用している品目により分類しています。

農林水産省 近畿農政局

大津地域センター

〒520-0044 滋賀県大津市京町3-1-1 大津びわ湖合同庁舎

TEL. 077-522-4273 (6次産業化チーム) FAX.077-526-3062

東近江地域センター

〒527-0023 滋賀県東近江市八日市緑町11番24号

TEL. 0748-23-3842 (6次産業化チーム) FAX.0748-23-3844